



## 市議会11月定例会に提案

主な内容を紹介します。

予算案件

税務システム及びコンビニ交付システム改修費用  
(令和7年度～8年度)

7208万円

税制改正により、令和8年度から給与所得控除の見直し、特定親族特別控除の創設

などが行われることに伴い、税務システムなどの改修を行います。  
豊一留守家庭児童育成室リース費用  
(令和7～18年度)

1億1968万円

児童数の増加に対応するため、留守家庭児童育成室を増築するものです。

## Panasonic Stadium Suita 10周年記念プロジェクト始動

企業や個人からの寄付と助成金を活用して建設され、市に寄贈された同スタジアム。

ガンバ大阪が記念プロジェクトを始動させました。特設WEBSITE内の連載企画「パナスタ物語」では、スタジアムとして親しまれている同ス

タジアムの10周年を記念して、建設の裏話やそれぞれの思いをることができます。



10周年ロゴマーク



特設WEBサイト



Panasonic Stadium Suita

アム建設に携わった関係者などへのインタビューを通して、建設の裏話やそれぞれの思いをることができます。



市報のバックナンバーはこちら

## 優良賞を受賞



市長コラム No.124

### こもれび通り

後藤圭二

### 大人になる



コラムの音声版は  
こちら

20代後半に「世の中の事はだいたい分かった」と考えていた私は、世間知らずの若造でした。こんな若造は、自分が大人になりきれていなかったことに、いつ気が付くのでしょうか。

私は、熱中していたテニス、野球、スキーで永遠に上達し続けると思い込んでいた自分から卒業したとき、「大人になった」と感じました。

誰しも肉体は老化します。スポーツで必要な身体能力もピークを過ぎれば衰えるのは当然。しかし、実際に自分の身に起こるまで、自称アスリートの私には無縁な気がしていたのです。50歳ごろ、細かい字を読みにくくなってきた時には、いよいよ老化を実感しました。

肉体は箱で、心はそれを間借りしている。と、

私は思っています。箱は有機物、年月が経てば当然劣化します。しかし、「心」に衰えを感じるかどうかは自分しだいです。

昨年の後半、私はいろいろとチャレンジする機会を得ました。書道展への出品、ピックルボールやゴールボールへの挑戦。和太鼓の演奏でステージに立ち、国際音楽祭でオーケストラを指揮、年末にはドイツ語で「第九」を合唱。いずれも軽い気持ちで引き受け、後に本番の高いハードルに直面し「ああ、引き受けんといたら良かった」と逃げ出したくなることの繰り返し。

いまだに若造感が抜けきらない私。「渋い大人」になる日は、どうやらまだ遠いようです。